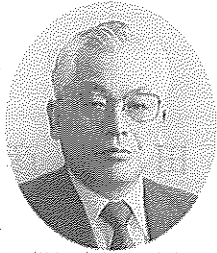


創立80年記念事業の一つとして補植・補修された校舎前の桜並木



21世紀、さらなる飛躍を

同窓会長 中川久尚

同窓生皆様の温かいご協力により、母校創立80年記念事業として計画された生徒食堂が、近代的な設備をもった食堂に生まれ変わり、完成しました。

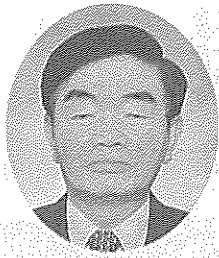
生徒はもちろんのこと、母校を訪れる皆様に明るい食堂でおいしく食べていただけるものと思います。ここにあらためてご協力下さいました皆様に、心からお礼を申し上げます。是非一度この機会に、母校に足を運んで下されば幸いです。昔と少しも変わらぬ桜並木通りを目にした時、学生の頃に友達と肩を寄せ合い、勉学に部活動に汗を流した日々が、つい昨日のことのように思い出されることでしょう。

学校は学科改編によって総合学科単独校としてスタートし、早5年目となります。生徒一人一人の進路希望に沿った科目を選び、夢を持ちながら楽しく勉強出来る

ようになりました。生徒たち自身でその夢をさらに育んでいき、新たに幕開けた21世紀に羽ばたいて、必ずや社会の期待に応えられる人となってくれるものと確信いたします。母校が地域に有為な人材を育てる学校として飛躍し、総合学科の内容が益々充実したものとなりますよう、本同窓会としてもさらに支援してまいりたいと思います。

私たちは人間として他人には優しく自分には厳しくなればならないと、常日頃思っております。学問も大切ではありますが、家庭、学校、社会が一体となってそれぞれの責任において頑張っていきたいものです。

終わりにになりましたが、母校の発展、同窓生諸兄のご健勝ご多幸をお祈りしてご挨拶といたします。



ご挨拶

学校長 布村 清嗣

この4月から、因らずも本校に勤務することになりました。私は、事情があって、幼少期の数カ月をこの上市町で過ごしたことがあり、また遠縁にあたる者の墓所がある関係で、これまでに何度か当地を訪れており、不思議な縁を感じております。

同窓会員の皆様には、本校教育の充実発展のために、日ごろから多大のご支援を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。観嶺会館や食堂、平成11年に補植・補修していただいた県下に誇る桜並木、また意義深い記念碑の数数などに込められた会員の皆様の熱い思いを、重く受け止めていかねばならないと思っております。

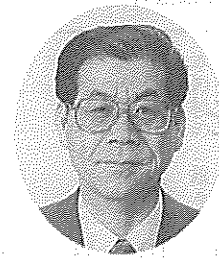
ご承知のとおり本校は、平成9年に県下で二番目の総合学科単独校として新たなスタートをいたしました。また明年度から学校週5日制が完全実施に移され、平成15年度には新学習指導要領が施行されます。新しい教育課程をどのようにするか、どのような教育活動を展開して

いくかが当面の課題であります。

ところで、故松村健三先生が本校のために揮毫された扁額が、校長室に掲げてあります。曰く「玉不琢不成器(玉琢かざれば器を成さず)」

大きな可能性を秘めた生徒(玉)を琢くのは、当然我々教師の責務ではありますが、思えば、2万名にあまる同窓会員の方々の中には、豊かな経験なり優れた技能なりお持ちの方が数多くいらっしゃいます。そのような方々に、現在の生徒たちを何らかのかたちでご指導いただく機会をもつことができれば、それこそ先輩から後輩へ受け継がれる伝統のひとつの形が生まれるのではと密かに考えているところであります。ご意見などいただければ幸いです。

末筆になりましたが、会員の皆様のご健勝と、ますますのご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



期待

教頭 密田 昭彦

上市高校に赴任して、通算で十数年を経た。同窓生以上に上市高校に在籍し、学校に対する思い入れも相当強いものがある。

その間、普通科・農業科がなくなり総合学科となり多くが改変され、そして同窓会などの支援を得て施設・設備面でも充実し大きな変化を遂げた。

またこのような変化と同じように、新しいカリキュラム、急速に変化する社会や家庭環境のなかで育ってきた高校生そのものにも大きな変化を認めざるを得ない。

社会現象の変化の一つにボーダーレス化が多くの分野で進んでいることをあげることが出来る。境目なしのメガネ、バリアフリーの住宅、昼夜営業のコンビニなどは私もその恩恵に浴している。

しかし、このボーダーレス化が教育や心の分野にまで及んでいることに危惧を抱いている。

親と子供、先生と生徒、先輩と後輩の関係、善と悪などにおいて、親は親として為すべきことを成し、先生は教師として教えるべきことは教えるということが大切である。

子供の自由・権利を尊重することは大事であるが、強調するあまり、安易に欠陥することも、遅刻することも、眠ることも、マナーを無視することも自由とし放任するならば教育は成り立たない。自由には責任、権利には義務が伴って初めて教育は成り立ち、ボーダーレスであってはならない部分である。

本校は総合学科になり、特色ある学校づくりが求められているが、「総合学科であること」が特色であり、総合学科の基本理念を再確認し、次へ新しい歴史の構築が期待されていることを痛感している。

創立80年記念事業 食堂完成

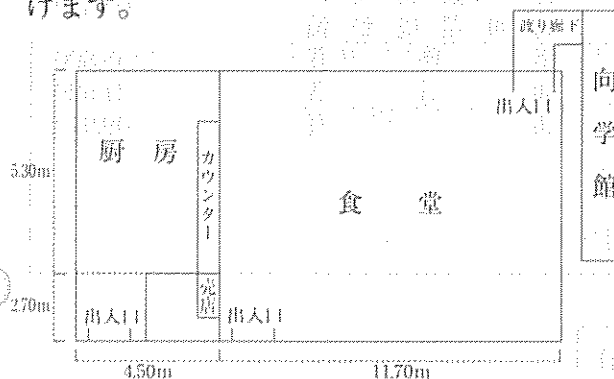
—— 竣工式 盛大に行われる ——

創立80年記念事業としての食堂建設工事は昨年7月26日に着工、順調に工事は進み、同年10月16日(月)に新食堂の工事完成検査が終了した。建設場所は本校中庭東側で、向学館(旧薬業棟)と渡り廊下で結ばれた。鉄骨造り平屋建てで、面積は129.6平方メートル。その完成を祝し、同年10月21日(土)午前10時30分より劔嶺会館において竣工式が盛大に行われた。

竣工式では、まず中川久尚同窓会長が式辞を述べ、続いて酒井眞次県議会議員様並びに山下正明上市町議会議長様より祝辞をいただいた。次に斉木義和校長(当時)が謝辞を述べ、さらに生徒を代表して尾島貴司生徒会長(当時)が喜びのことばを述べた。そして、志鷹新太郎、小西広一、高井芳樹、高田巖の四氏に中川会長から感謝状が贈呈された。その後、新食堂入り口に移動し、伊東尚志上市町長様ら6名によってテープカットが行われた。テープカットの後、参加者全員で食堂内を見学した。

完成を心待ちにしていた生徒たちのためにまもなく営業がスタートし、今現在新食堂は生徒たちの憩いの場として親しまれている。なお、新食堂は多目的ホールとして、研修やホームルーム活動などの教育活動の場としても利用されている。

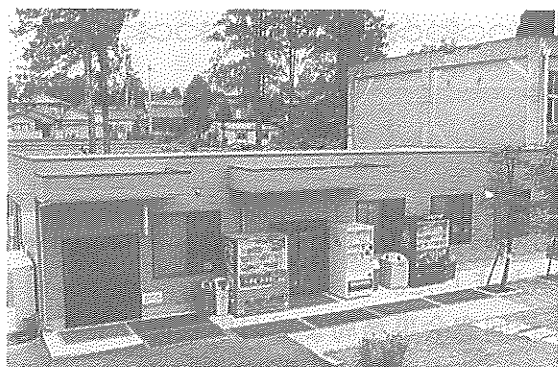
建設にご尽力いただいた方々、ご寄付をいただいた方々にあらためて深く感謝申し上げます。



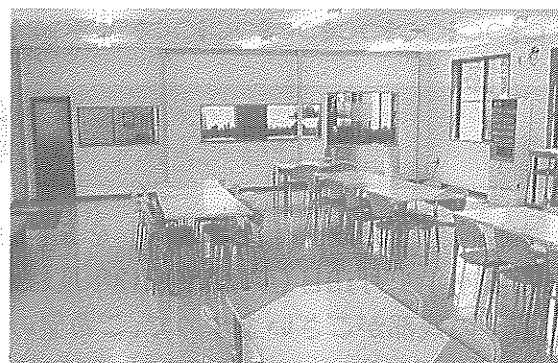
【食堂平面図】



【竣工式のテープカット】



【中庭側より望む】



【食堂(多目的ホール)】